

オイルドレンボルトが無い場合のオイルの交換方法

-手押し式、自走式モア-

はじめに

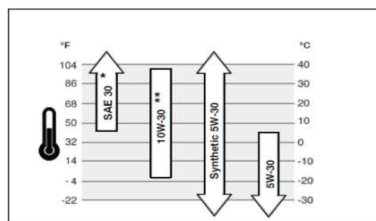
- 取扱説明書をよく理解し、安全に留意して作業を行ってください。
- 機種によりドレンボルトがないモデルがあります。
危険なブレードの近くで作業することがないように、現行モデルの多くはドレンボルトがありませんので、下記の要領を参考にしてください。
- 作業にはガソリンやエンジンオイルなどを取り扱いますので、火災などの事故につながる恐れがあります。
できる限り購入したお店へ作業の依頼を行うことを推奨いたします。

オイル交換の時期

ご購入後初回のオイル交換	5時間使用后
2回目以降のオイル交換	50時間毎
※詳しくは製品に付属している取扱説明書を参照ください。	

使用するオイルについて

種類	4サイクルガソリンエンジン用
グレード	API規格 SF 以上
粘度	SAE 30 推奨 ※手に入らない場合は 5W-30 もしくは 10W-30 をご使用ください。



エンジンオイルの粘度は外気温などにより選択します。
通常芝刈り機は外気温4℃以上で使用します。

推奨は SAE 30 ですが、10W-30でも5W-30のオイルでも使用可能です。

交換に必要な備品

作業を始める前に下記の備品を用意してください。

- オイル受け皿
- オイルジョッキ
- ウェス
- 軍手、ゴーグル等の安全用具
- 交換用オイル

エンジンオイルを交換する事前準備

- 1、 ガソリンを使い切る
エンジンをかけて燃料タンク内のガソリンを全て使い切り燃料タンクにガソリンが入っていない状態にしてください。
- 2、 作業のできる場所の確保
周囲に火元の無い場所で平らな作業のできる場所を確保してください。
- 3、 芝刈り機の清掃
本体を清掃しごみなどの付着が無いようにしてください。
特に給油口周辺のごみを除去しエンジン内部にごみが侵入しないようにしてください。

エンジンオイルの交換手順

- 1、 エンジンからディップスティックを取り外してください。



ディップスティックを時計方向に回して抜き取ってください。
その際に、ごみがエンジン内に侵入しないように注意して作業してください。

- 2、 オイル受け皿を用意し、写真のように芝刈り機をディップスティック側へ倒してください。



オイルがこぼれたら、速やかにウエス等でふき取ってください。

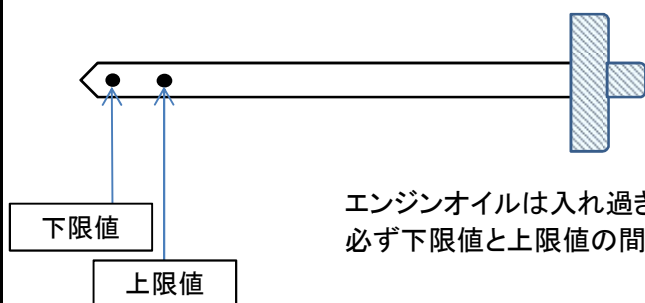
- 3、 オイルが全て抜け切ったら、芝刈り機を起こしてください。

- 4、 ディップスティックチューブ（給油口）から適切な量のエンジンオイルをオイルジョッキを使用してオイルを入れてください。



オイルがこぼれたら、速やかにウエス等でふき取ってください。
オイル量の目安は取扱説明書を参照してください。

- 5、 ディップスティックを使用してオイルが適切なオイル量になっているか確認してください。
オイル量を確認するときはディップスティックを締めこんだときに正しいオイル量です。



エンジンオイルは入れ過ぎても少なすぎてもトラブルの原因となります。
必ず下限値と上限値の間にオイル量があることを確認してください。

※注意※

廃油はお住まいの自治体のルールに従って廃棄してください。